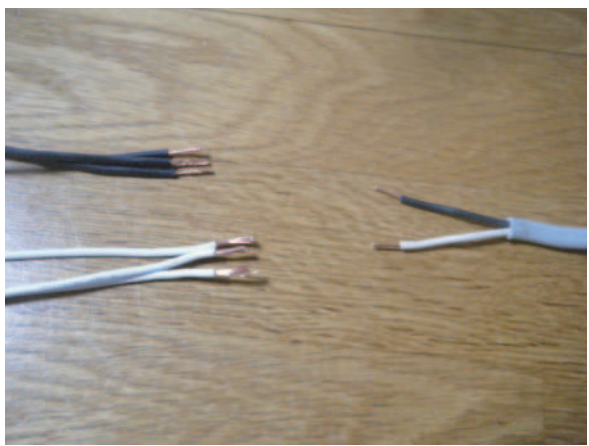




手順①
敷設面ごとのリード線（白・黒それぞれ）をまとめます。



手順②
VVF 1.6mm と、①でまとめたリード線（白・黒それぞれ）をリングスリーブを用いて圧着結線します。

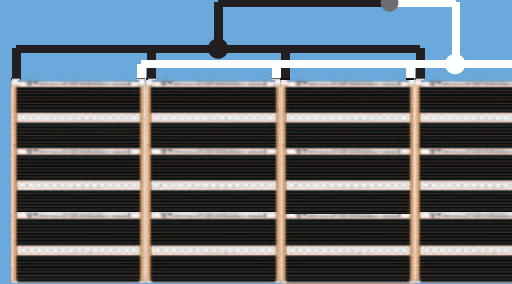
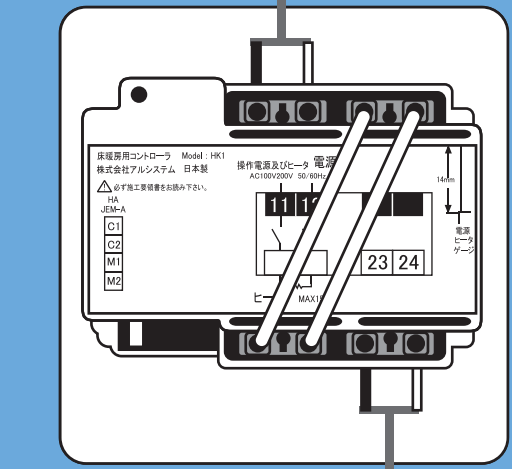


手順③
圧着結線した部分を絶縁テープで絶縁防湿処理します。

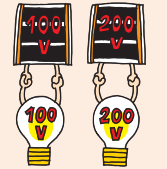


手順④
コントローラ取付け予定位置で仮止めします。電源側（一次側）も同様です。コントローラへの接続は右上図を参考にしてください。

◆HK1 (1回路コントローラ)

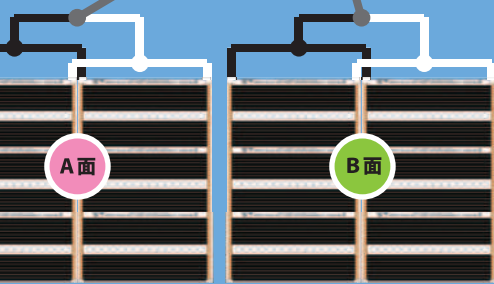
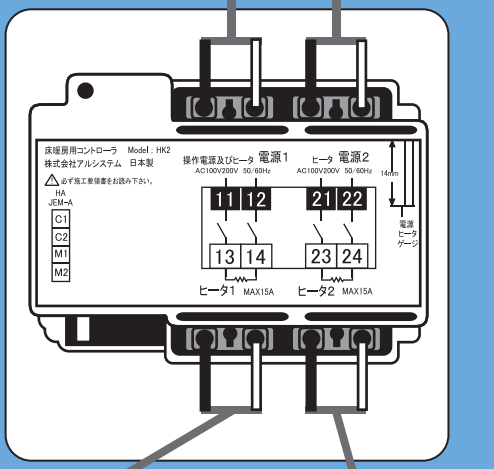
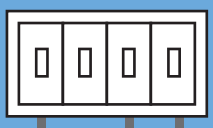


コントローラは200V/100V兼用です。(床暖房の電圧に関わらず、コントローラは動作します。)
コントローラの端子台はスクリューレス端子台です。VVFと接続してください。
※アース線、温度センサは必要ありません。
※必要に応じて、ホームオートメーション用端子台をご使用ください。



プリマヴェーラ・ネオに合った電圧をかけてください
100V用プリマヴェーラ・ネオに200Vの電圧をかけると、プリマヴェーラ・ネオは使用不可となります。
200V用プリマヴェーラ・ネオに100Vの電圧をかけると、温まりが極端に弱くなります。

◆HK2 (2回路コントローラ)



HK1/HK2フタ開

◆床暖房検査表の記入方法

仕上げ材の施工と電気配線の完了後、検査を行い、数値を床暖房検査表に記入し、当社まで FAX 送信してください。

①現場合成抵抗値(Ω)の測定 …2次側配線の線間で測定



プリマヴェーラ・ネオの敷設面ごとの抵抗値を測定してください。
リード線の繋ぎ忘れがないか確認するための検査です。
正常値
(工場合成抵抗値)の±10%以内

②絶縁抵抗値(MΩ)の測定 …2次側配線の片側と対地(アース)間で測定

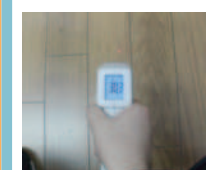


プリマヴェーラ・ネオ及び配線からの漏洩電流がないか確認するための検査です。
正常値範囲から逸脱している場合は、速やかに当社営業担当者にご連絡ください。

※必ず2次側で測定してください。

正常値
500V 計測 100MΩ～∞
250V 計測 50MΩ～∞

③昇温検査



左の写真は、赤外線温度計で温度上昇を確認している様子ですが、体感で昇温が確認できれば問題ありません。

昇温確認
温まっている 良に○
温まっていない 不可に○

重要 床暖房検査表 FAXで送る(※)	
FAX: ××-××××-××××	
①現場合成抵抗値(Ω)の計測 …2次側配線の線間で測定	②絶縁抵抗値(MΩ)の計測 …2次側配線の片側と対地(アース)間で測定
正常値 工場合成抵抗値(Ω)の±10%以内	正常値 DC500V: 100MΩ～∞ DC250V: 50MΩ～∞
③昇温検査	左の写真は、赤外線温度計で温度上昇を確認している様子ですが、体感で昇温が確認できれば問題ありません。
温まっている 良に○	温まっていない 不可に○

重要	床暖房検査表 FAXで送る(※)	TEL: 06-6550-0000
NO.	XXXXXXXXXX	担当者
物件名	XXXXXXXXXX	200 V
現場住所	〒XXXX-XXXX-XXXX	
電気工事士	氏名	電話番号
施工店	店名	電話番号

電気式エコ床暖房 プリマヴェーラ・ネオ

本製品を正しく安全に施工していただくために、本書の注意事項・施工方法をよくご理解いただいたから施工してください。万が一、本書と異なる施工を行い事故が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。

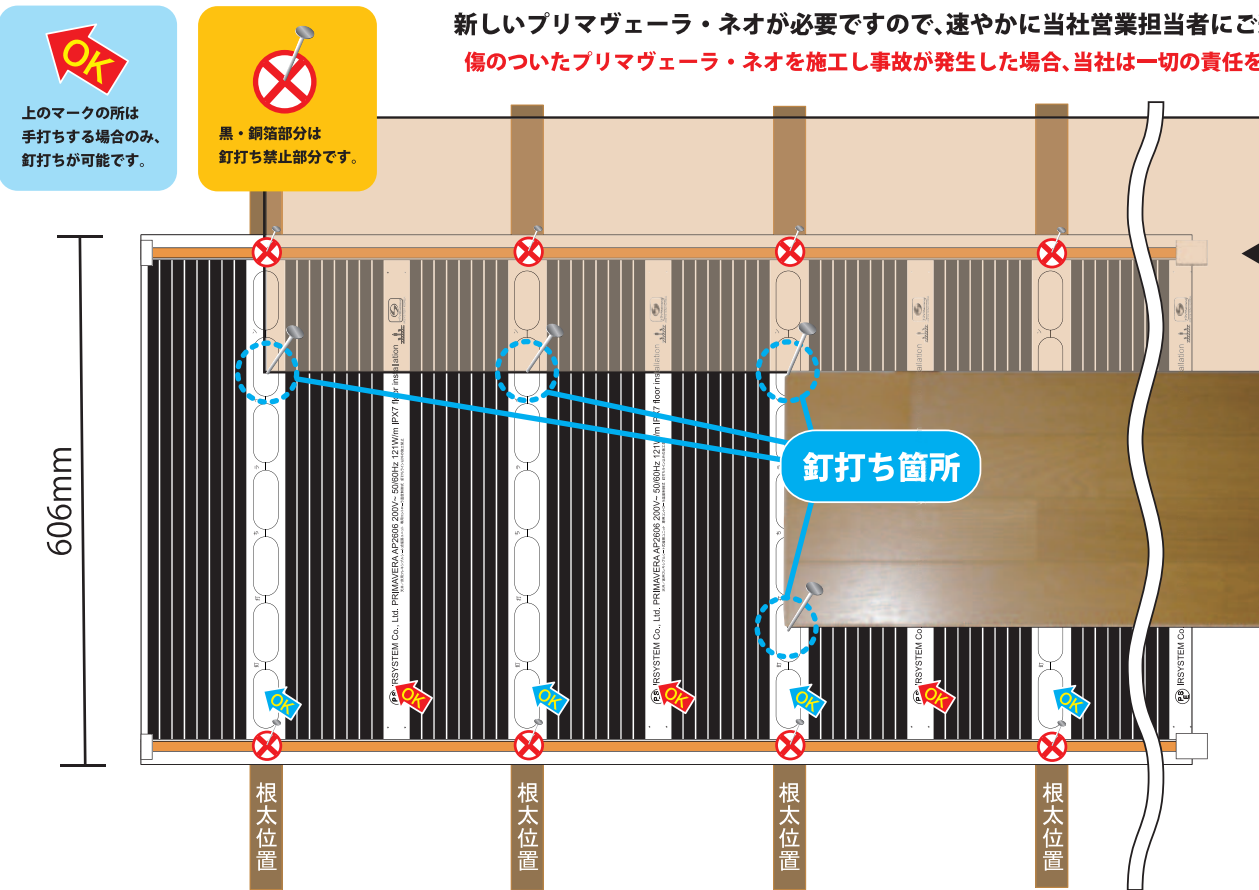
PRIMAVERA NEO 施工要領

◆釘打ち可能な場所について

プリマヴェーラ・ネオの透明部分以外は釘打ちできません。 ◆その他注意点等

傷のついたプリマヴェーラ・ネオは“使用不可”となります

新しいプリマヴェーラ・ネオが必要です。速やかに当社営業担当者にご連絡ください。
傷のついたプリマヴェーラ・ネオを施工し事故が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。



◆フローリング（幅1尺×長さ6尺）の施工について

《フローリングの長手方向》→銅箔部分を必ずまたいでください。

銅箔部分はプリマヴェーラ・ネオの両端にあり、どちらも必ずまたぐように施工してください。

《フローリングの短手方向》→短辺部のジョイントを釘打ちラインに合わせてください。

プリマヴェーラ・ネオには303mmピッチで釘打ちラインがあります。

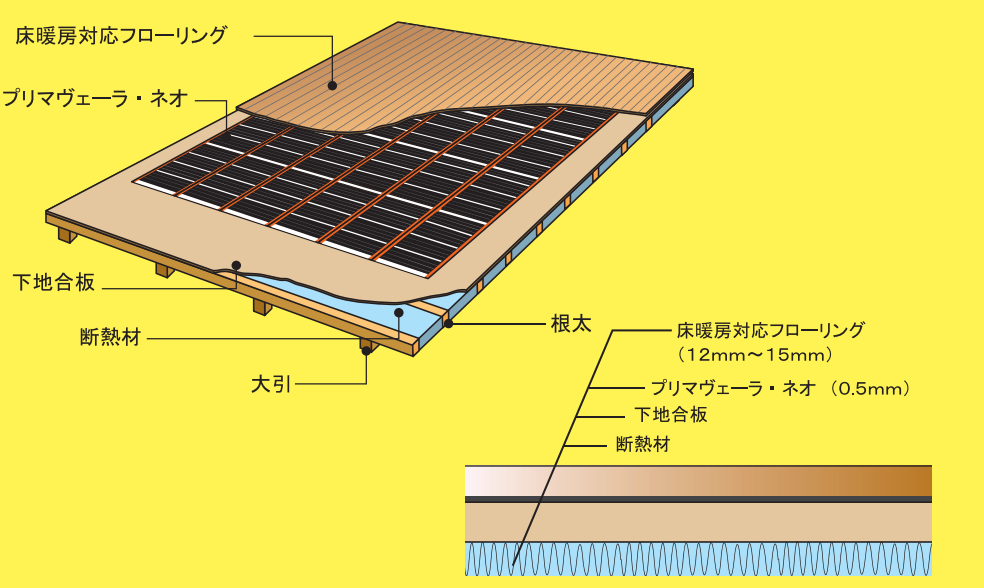
必ずまたぐように



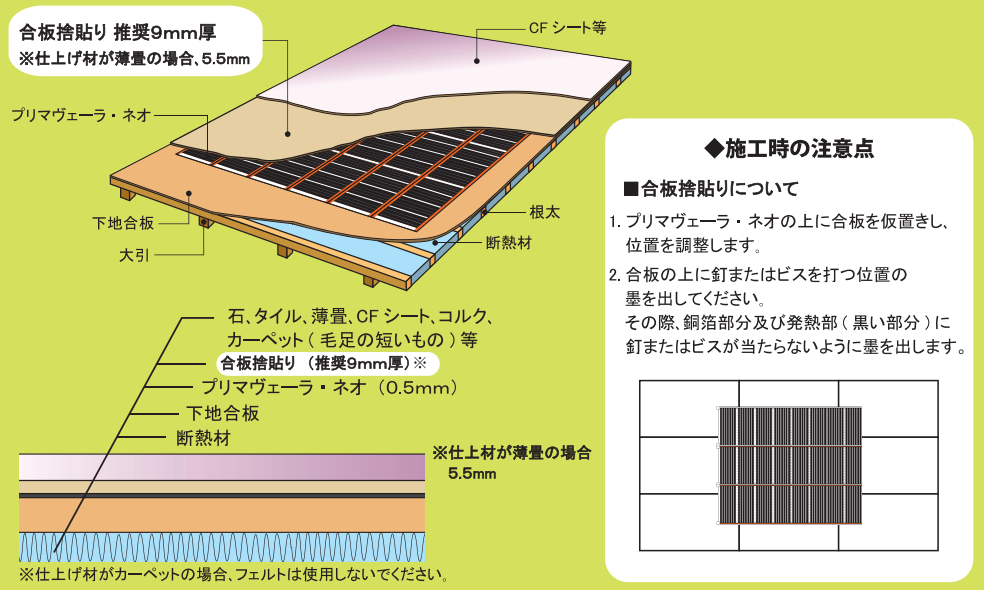
- ①303mmピッチにある釘打ちラインに釘打ちしてください。
- ②フロアネイルを使用し、手打ちされることをおすすめします。
- ③フィニッシュネイルでの施工は、床鳴りが発生する可能性があるため、おやめください。
- ④ステープル等の施工もできますが、釘が跳ね返る恐れがありますので、手打ちをおすすめします。

床暖房システムの概要図・床構造別断面図

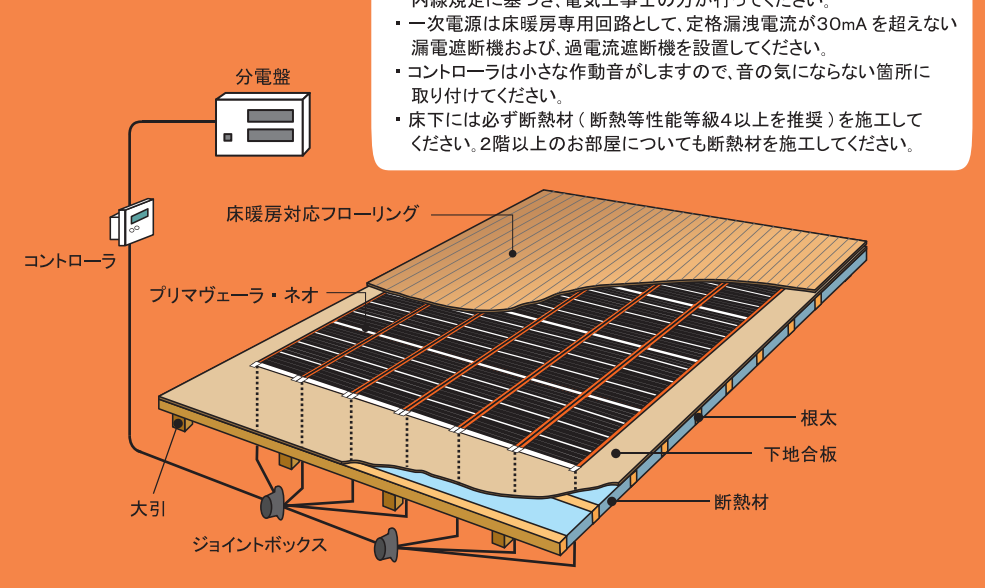
(1) 根太工法（仕上げ材がフローリングの場合）



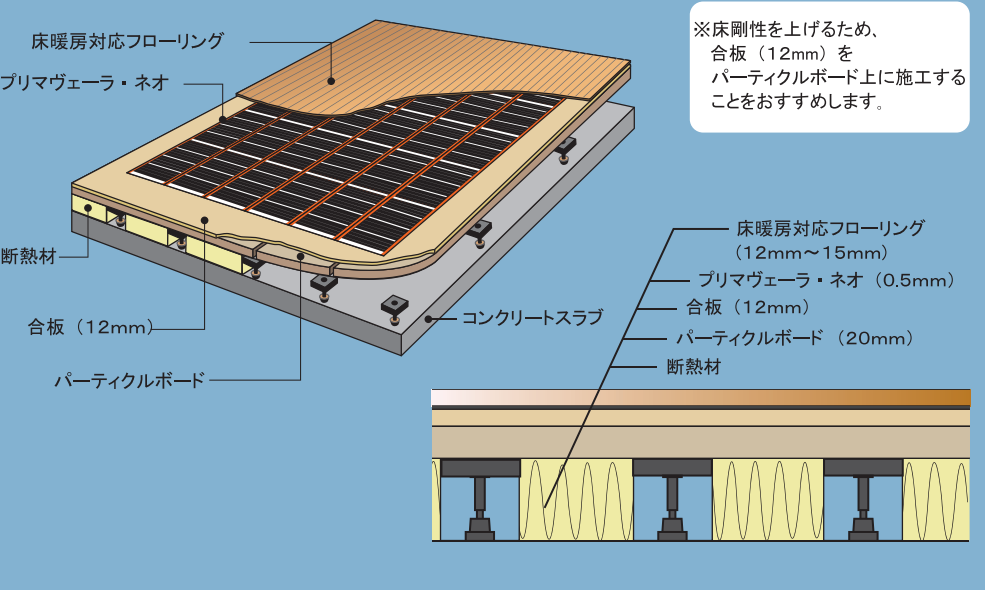
(2) 根太工法（仕上げ材がCFシート・カーペット・タイル等の場合）※床暖房対応品



床暖房システムの概要図



(3) 乾式二重床工法の場合



※各乾式二重床メーカー様の指示にしたがって、施工してください。



製造・販売元

株式会社 アルシシステム

https://www.irsystem.co.jp

E-mail: sales@irsystem.co.jp

大阪本社: 〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原4-2-10 PMO EX 新大阪210号

TEL: 06-7712-4335 FAX: 06-7657-9778

東京支店: 〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア5F 525号室

TEL: 03-6772-8550 FAX: 03-6880-4318

① 施工の前に

◆施工に関する注意事項

施工前にフローリング方向、貼り始めの位置、配線方法、コントローラ位置等を必ず確認してください。



出荷明細書と商品の確認を
してください

商品到着後（納品日）、1週間に内に出荷明細書と商品をご確認ください。
※期限が過ぎている場合、対応をしかねることがあります。



通電は接着剤乾燥後に行ってください

通電は接着剤が完全に乾いてから行ってください。
（目安：夏期は2～3日、冬期は5日以上）

接着剤が固まる前に電気を通して熱を加えたり、接着剤を塗りすぎたりすると、
しっかり接着せず、床鳴り他問題が発生する可能性があります。

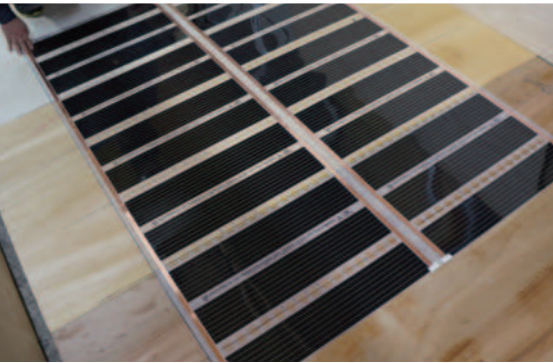


当社営業担当者が施工説明に伺います

初めて当社製品を施工される施工店様・電気工事店様に向けて
施工方法を説明いたします。
なお、日程調整についてはお早目にご連絡ください。

手順①

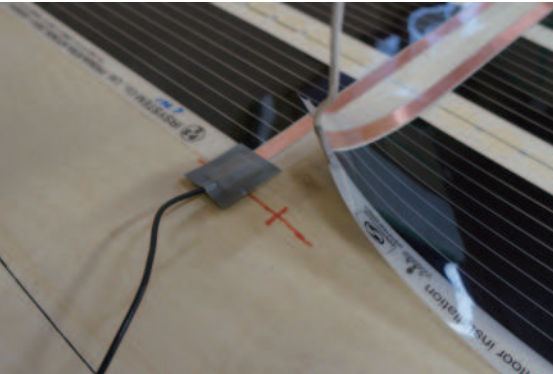
プリマヴェーラ・ネオ 敷設位置の確認



プリマヴェーラ・ネオを仮置きし、敷設部分の墨を出します。

手順②

ターミナル位置の確認



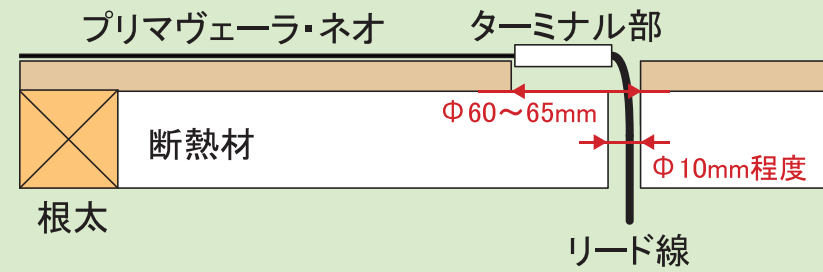
プリマヴェーラ・ネオのターミナル位置の下地合板に、印をつけます。
配線方法は3通りありますので、現場の環境に合わせて
選択してください。

② 配線のための下地加工（3通りの方法があります）

◆方法①＜キリを使った床下配線＞



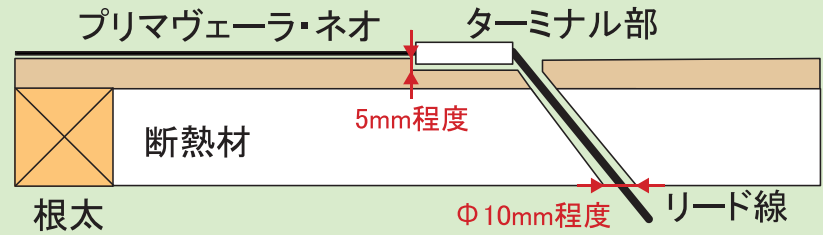
＜参考：断面図＞



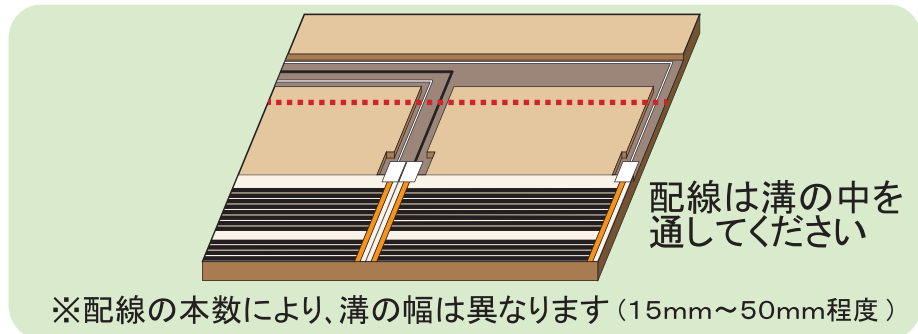
◆方法②＜座彫りし床下配線＞



＜参考：断面図＞



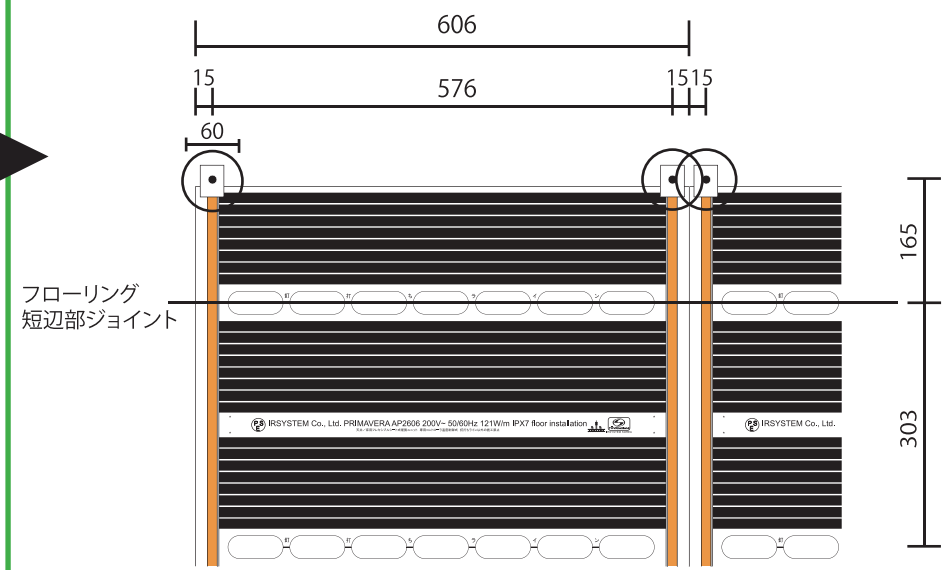
◆方法③＜溝掘配線＞



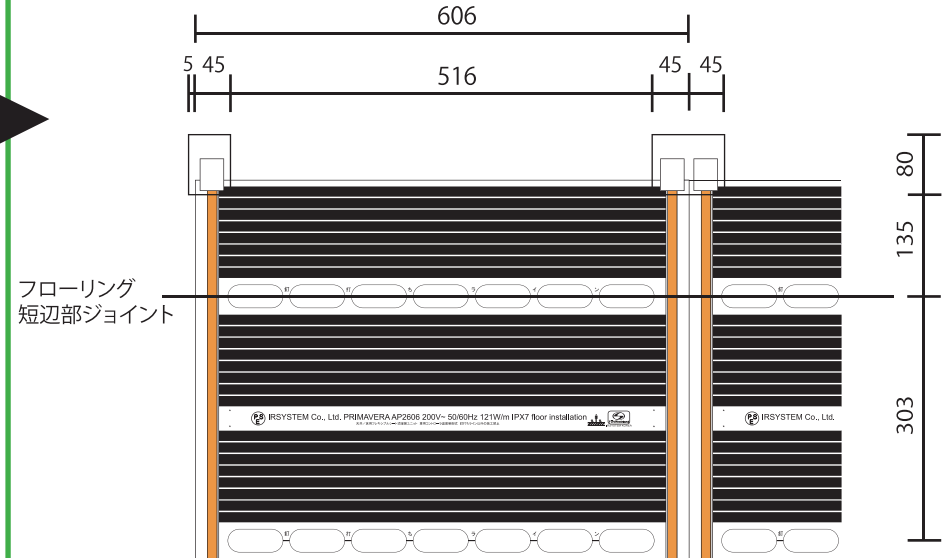
下地加工後は 清掃をお願いします

施工する部分にゴミが入ってしまった場合、
床鳴り、破損による漏電の恐れがあります。

◆丸穴位置

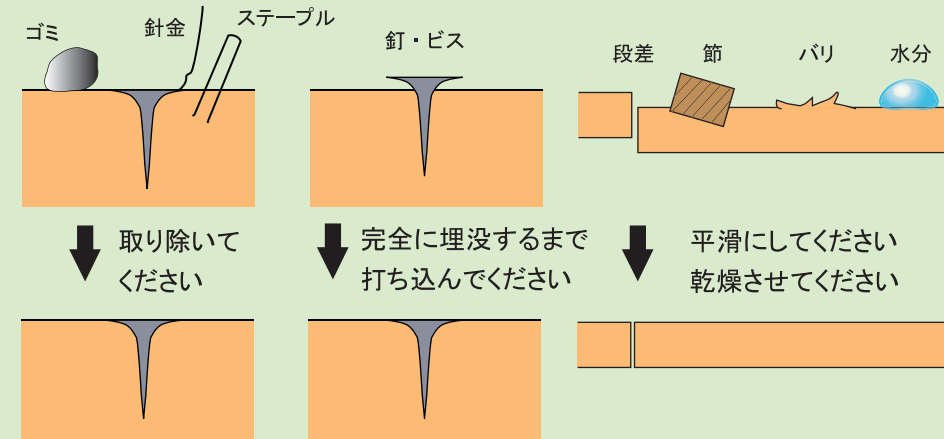


◆座彫り位置



！ プリマヴェーラ・ネオ敷設前の注意

プリマヴェーラ・ネオを敷設する前に、ゴミ・木ズ・連結釘の針金・
ステーブル等の無いよう、丁寧に掃除してください。
釘・ビス等の頭は埋没するまで打ち込んでください。
合板のバリや節などの突起物、段差等の無いよう平滑にしてください。
下地合板が濡れている場合は、よく乾燥させてください。

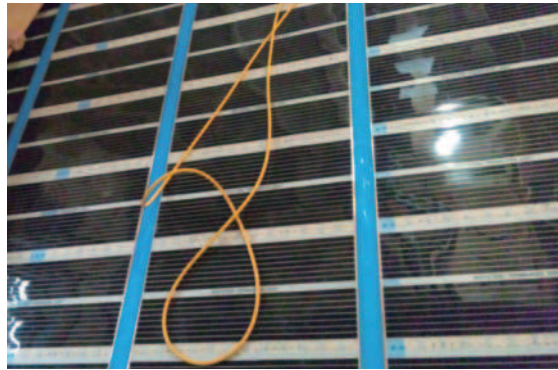


プリマヴェーラ・ネオのリード線を床下に落とします。

配線

※床上配線は方法が
異なります。

手順① プリマヴェーラ・ネオの敷設



仕上げ材の釘打ち部とプリマヴェーラ・ネオの釘打ちラインが
合うように、重ねず隣同士は突き付けて敷設してください。
なお、固定には養生テープを用い、釘打ちライン上の銅箔部を
隠すように貼り付けてください。

手順② 仕上げ材の施工



仕上げ材の施工要領に沿って施工してください。
プリマヴェーラ・ネオ敷設部分への接着剤塗布は釘打ちラインの穴に
沿って行いますが、接着剤は銅箔部分に付着しないようにしてください。
接着剤は、コニシ社製 KU928C-X 同等品をご使用ください。

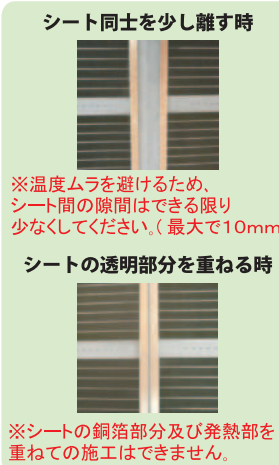
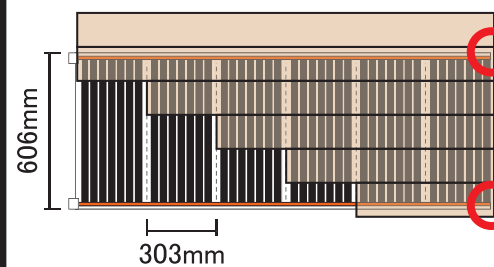
施工完了



仕上げ材の施工が完了すると、電気配線作業に移ります。
電気配線は必ず電気工事士の有資格者が行うようにしてください。

◆仕上げ材が幅の狭いフローリングの場合

幅1尺のフローリングと同様に、
銅箔部分を必ずまたぐように施工してください。



どのようにしても銅箔部分とフローリングの継ぎ手が重なったり接近する場合
①プリマヴェーラ・ネオの透明部分を重ねる
②プリマヴェーラ・ネオ同士を離す（最大で10mm以内）

※割り付けを合わせるために、余っている棒を物差し代わりにする方法や、
予めプリマヴェーラ・ネオを固定するのではなく、フローリングを施工しながら、
1枚1枚ずらして固定する方法があります。

※輸入材、無垢材での施工をご希望される際には、当社営業担当者にご相談ください。